ワイヤレス見張隊ＮＥＯグランドスラム　設置マニュアル　【202502 版】

表

本紙は、ワイヤレス見張隊ＮＥＯグランドスラム(以下、本装置)の設置方法について説明します。
カメラは水の浸入に対する保護等級 IP65 相当(あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており､風雨にさらされても問題ありません。
長く大切にご使用いただくために、雨や日差しが直接当たらない場所(軒下など)への設置をお勧めします。
カメラを設置する際、地域の条例やガイドラインに従って設置してください。撮影箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

1．注意事項

・設置する際の注意事項です。よくお読みください。

⚠警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
- 壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
- AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。
  また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
- 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

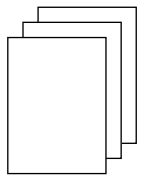
- 壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
- カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・火気のそば
  - ・油飛びや湯気が当たるような場所
  - ・ほこりが多い場所
  - ・不安定な場所
  - ・極度に振動が激しい場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
  - ・極度に高温や低温になる場所
  - ・直射日光が当たるところ
  - ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く

電波の到達距離について
録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、
次のような場合は、電波が届きにくくなります。
・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合
・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合
（外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、網入りガラス、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具など）

カメラは電波干渉による影響を防止するため、次のように機器から離して使用してください。
・電子レンジ　・無線 LAN 機器　・ワイヤレス AV 機器　・インバーター電気機器
・他社製のワイヤレス型防犯カメラ
その他、下記の機器でも近くで使用すると、本装置やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー　・デジタルコードレス電話機
・火災報知機　・アマチュア無線局・自動ドア　・マイクロ波治療器
・Bluetooth®対応機器　・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン

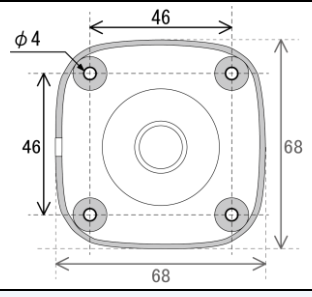
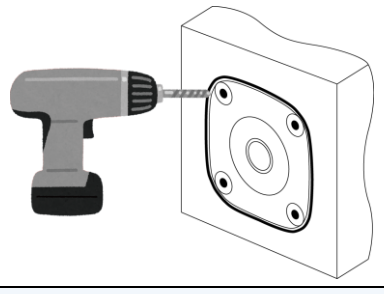
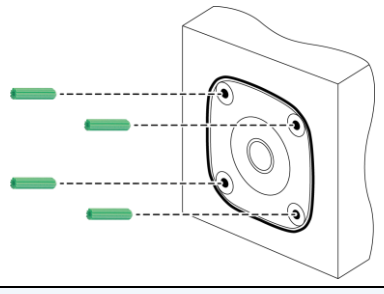
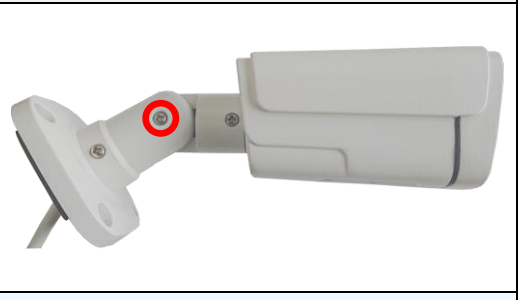
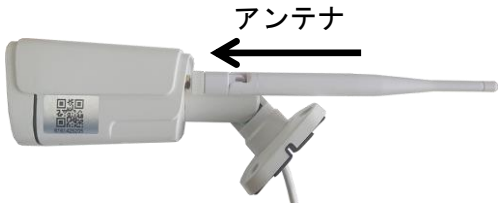
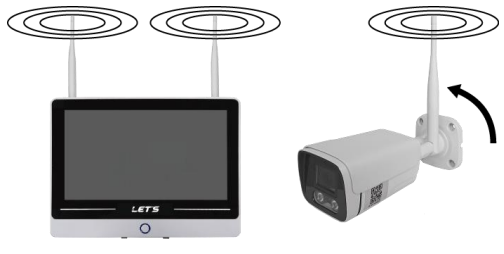
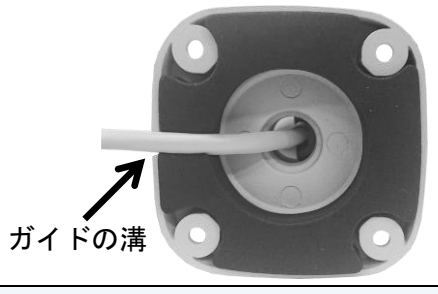
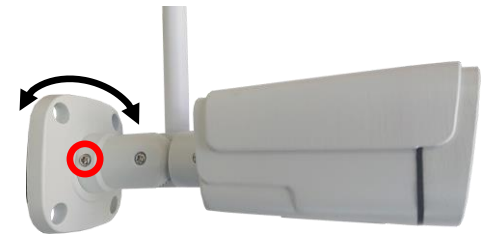
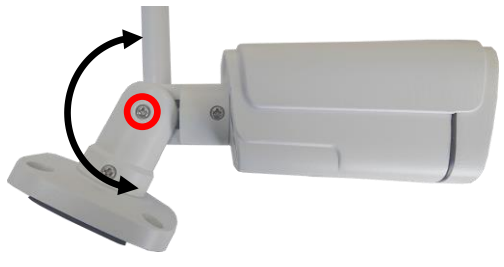
2．箱の中身を確認

・箱の中から次の部材を使用します。万一、不足や損傷している場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社へご連絡ください。
※　カメラ４台モデル(L-WMN-GS4C)の場合、バレット型カメラは４台入っています。カメラ２台モデル(L-WMN-GS2CR)の場合、バレット型カメラは２台入っています。

※バレット型カメラ	※カメラ用アンテナ	※カメラ用取付け部材	※カメラ用電源アダプタ	録画装置×1
				
録画装置用スタンド×1	録画装置用電源アダプタ×1	マウス×1	LAN ケーブル×1	取扱説明書×1

3．カメラの取り付け方法

・カメラを壁に取り付ける場合を例に説明します。「５．録画装置の設置」を参照し、録画装置の映像を確認しながら設置します。
【ご注意】本製品のカメラは LAN 端子のないため、録画装置と LAN ケーブルで接続することができません。ご了承ください。
※設置環境により下記の手順通りでなく調整し易い手順で設置・調整を行ってください。設置場所によってはアンテナが干渉する箇所が有り取付けできない向きがあります。ご了承ください。
　その場合、防犯カメラ用の取付金具等を用意してから設置してください。また、カメラを天地反対にして設置する場合、防水性能が落ちますので雨がかからない場所に設置してください。
※カメラの取付けネジ、および向きを調整するネジ(手順⑧⑩⑪)はしっかりと締めてください。すき間があると防水性能が落ちますので、その場合コーキング材で防水処理をしてください。

バレット型 カメラの重量 約 380g 			
① カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。	② 壁に穴を開けます。φ6～6.5mm のドリルビットで､深さ 30mm のガイド穴を開けます。	③ ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。	④ 上図のネジを緩めます。 アンテナを取り付ける為、脚を曲げます。
			
⑤ アンテナを取り付けます。	⑥ アンテナを立てて、録画機のアンテナ向きと正対させます。	⑦ ガイドの溝から、カメラケーブルを出します。	⑧ 上図のネジを緩めると、取付け面の向きを変えられます。
			
⑨ 取付け面の穴にネジを通して、ドライバーでネジを締めて取付け面に密着させます。	⑩ 脚の角度を調整後、上図のネジを締めて、脚を固定します。	⑪ 上図のネジを緩めると、カメラの画角を回転させることができます。	⑫ 電源端子に、カメラ用電源アダプタ(12V/1A)を接続します。

裏

4．ケーブルの防水方法

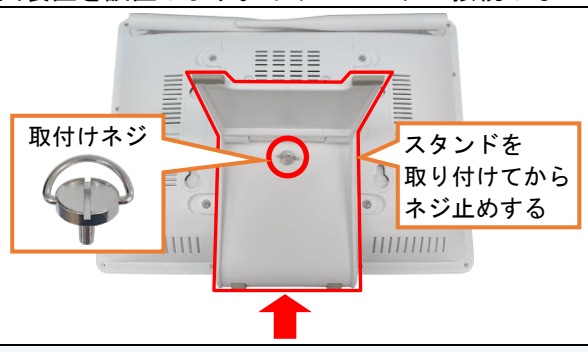
・ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。（防水プルボックス等に収納する場合は不要です。）
・ケーブルの端子に加え、アンテナ結合部、ネジ部、カメラの隙間を、コーキング材を使用することで防水効果を高めます。

① カメラと電源アダプタの接続部は、市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。

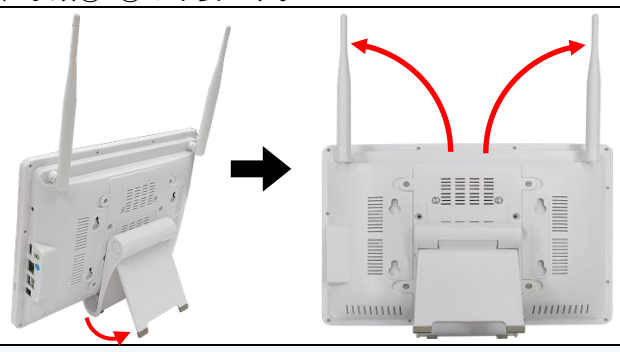
② LAN 端子があるカメラ(旧モデル)の場合、通常は使用しないため、端子部が濡れないように市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。

5．録画装置の設置

・録画装置を設置します。ネットワークに接続しない場合は、手順④･⑤は不要です。

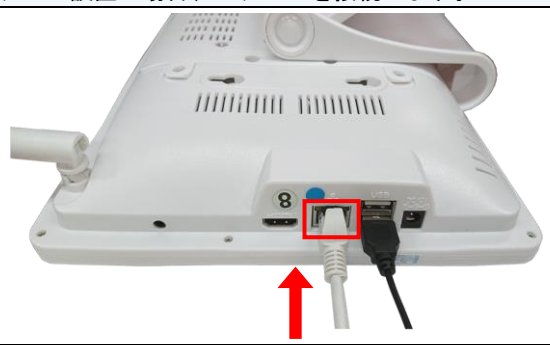


① スタンド設置の場合、スタンドを接続します。

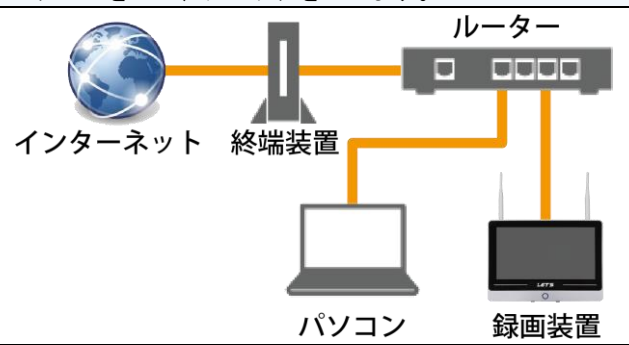


② スタンドを立て、アンテナを立てます。

③ USB 端子にマウスを接続します。



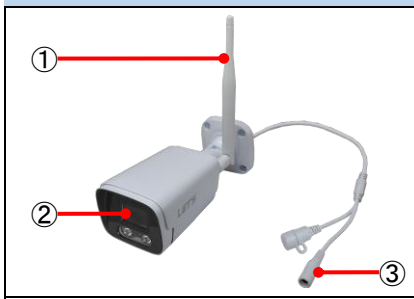
④ 【ネットワークに接続する場合のみ】
LAN 端子に LAN ケーブルを接続します。



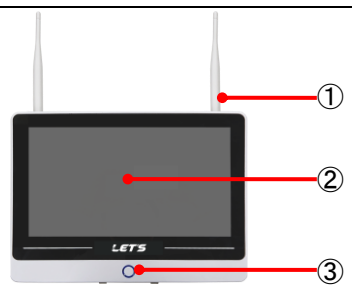
⑤ 【ネットワークに接続する場合のみ】
ネットワーク環境に接続します。

⑥ 電源端子に電源アダプタ(DC12V/3A)を接続すると、電源が入ります。

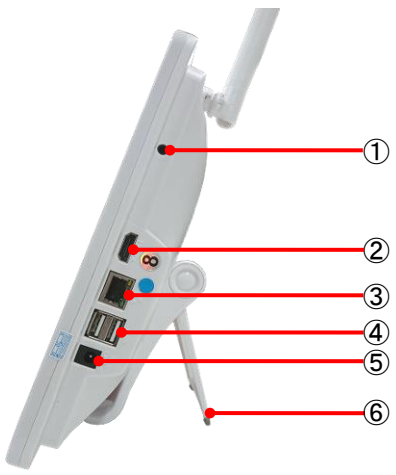
6．各部名称



① アンテナ
映像データを録画装置へ伝送します
② カメラレンズ
被写体を撮影します
③ 電源端子
電源アダプタを接続します



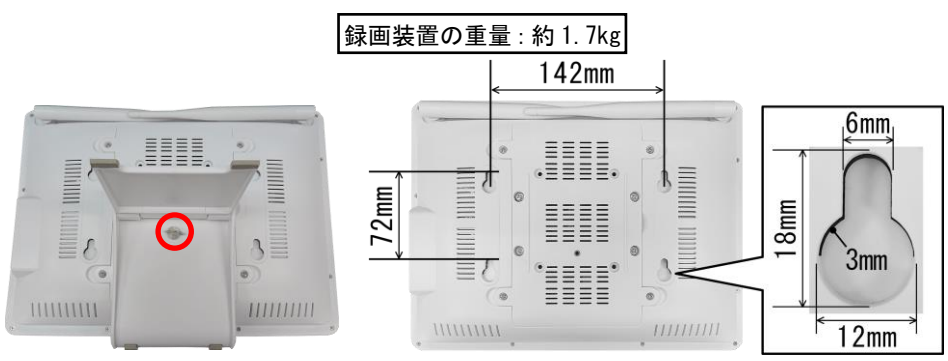
① アンテナ
カメラの映像データを受信します
② モニター
映像を表示します
③ モニター電源ボタン
モニター画面の表示を ON/OFF します
（電源 ON/OFF ボタンではありません）



① 音声出力端子(3.5mm)
音声を出力します
② HDMI 端子
モニターの映像を出力します
③ LAN 端子
ネットワーク接続時、LAN ケーブルを接続します
④ USB 端子
マウスを接続します
バックアップ時に USB メモリを接続します
⑤ 電源端子
電源アダプタを接続します
⑥ スタンド
録画装置を立てます

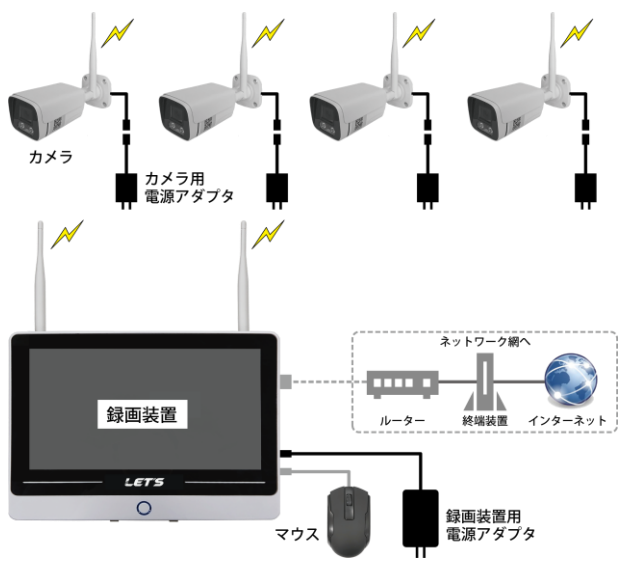
7．録画装置の設置例

スタンドを立てて設置する場合、水平な場所に設置してください。



吊り下げ穴に引っ掛けて設置する場合、スタンドを外してから背面にある４箇所の吊り下げ穴に引っ掛けて設置できます。
【吊り下げ用のネジ(M6 相当)等はお客様にて準備してください】

8．接続イメージ



■ お問合せ先　株式会社 レッツ コーポレーション
●カスタマーサービス　受付時間：９：３０～１８：００　（土曜、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）
〒４６０－０００２愛知県名古屋市中区丸の内二丁目２０－１　レッツ丸の内本社２号館ビル
ＴＥＬ：０５２－２０９－７８６０　　ＦＡＸ：０５２－２０１－５０５０　　ＵＲＬ：https://www.lets-co.jp/lets/

・本紙の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。　・本紙の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
2025/03　Ver.5.01